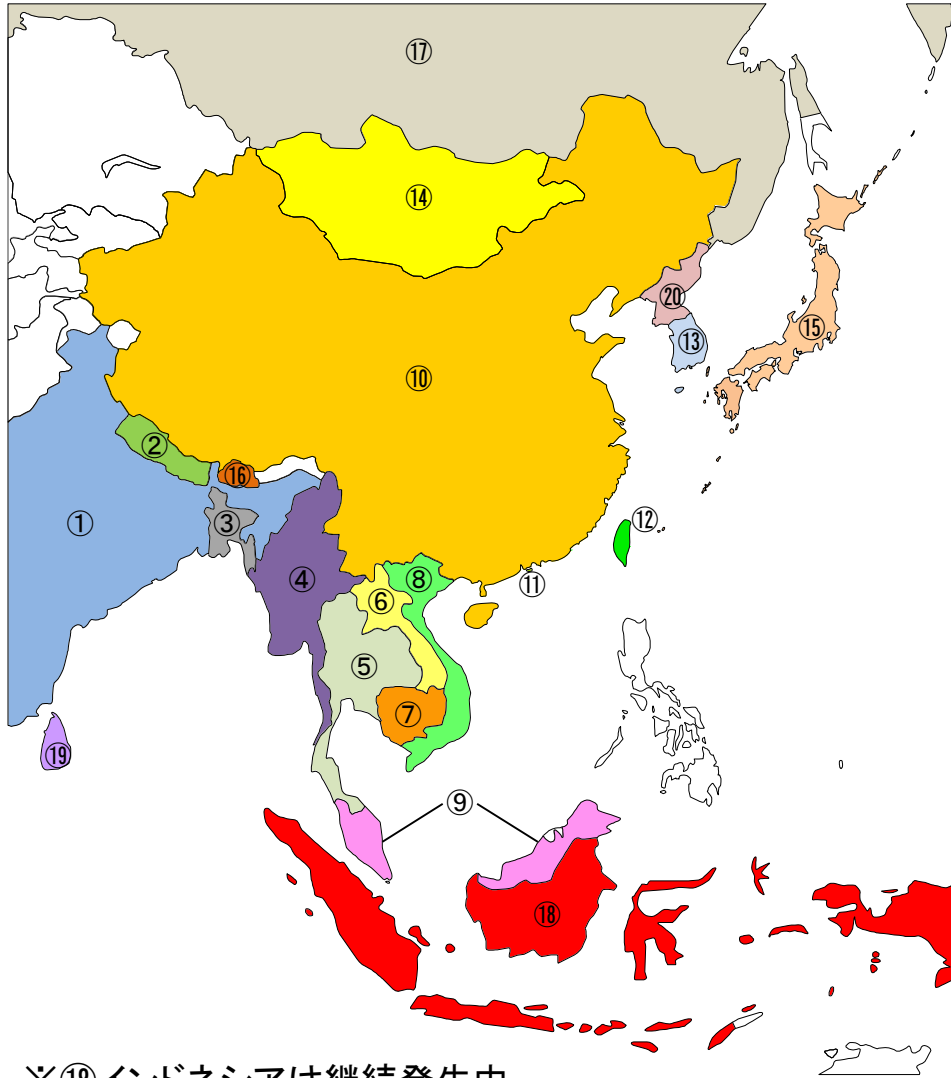


アジアにおける高病原性及び低病原性 鳥インフルエンザの発生状況



※⑱インドネシアは継続発生中

2014年11月25日現在

出典: OIE WAHID 他

家きん● 野鳥▲

*1: マカオからの輸入事例(空港で摘発)

*2: 野鳥の糞便からAIVウイルス(H5N8亜型)検出

	① インド	② ネパール	③ バングラデシュ	④ ミャンマー	⑤ タイ	⑥ ラオス	⑦ カンボジア	⑧ ベトナム	⑨ マレーシア	10 中国	⑪ 香港	12 台湾	⑬ 韓国	⑭ モンゴル	15 日本	⑯ ブータン	17 ロシア	⑰ スリランカ	20 北朝鮮	
2012年	1月	●▲	●					●			▲	●				●			●	
	2月	●	●	●				●			▲	●				▲	●			
	3月	●	●	●	●					●	▲	●					●			
	4月	●		●						●	▲	●					●			
	5月						●			●	▲	●					●			
	6月		●							●	▲	●								
	7月							●		●										
	8月		●					●		●										
	9月							●		●										
	10月	●	●	●				●		●										
	11月											●								
	12月		●	●								●								
2013年	1月	●	●				●	●			▲									
	2月	●	●	●			●	●												
	3月	●	●	●				●												
	4月	●	●	●				●		●										
	5月	●	●	●				●		●		●								
	6月	●	●	●						●		●								
	7月	●	●	●				●		●		●								
	8月	●	●	●				●		●		●								
	9月	●	●	●						●		●								
	10月									●		●								
	11月									●		●								
	12月									●		●								
2014年	1月	▲					●	●			●	●	●	●						
	2月		●				●	●			●	●	●	●						
	3月						●	●			●	●	●	●					●	
	4月							●			●	●	●	●		●			●	
	5月							●			●	●	●	●					●	
	6月							●			●	●	●	●					●	
	7月						●				●	●	●	●					●	
	8月							●			●	●	●	●					●	
	9月							●			●	●	●	●					●	
	10月										●	●	●	●					●	
	11月	●																	▲	

(赤: 高病原性鳥インフルエンザ、青: 低病原性鳥インフルエンザ)(発生日、検体回収日に基づく)

※ 野鳥の低病原性鳥インフルエンザについては確認可能な日本のみ記載